

■米国：FERC が PJM 市場における不適切な行為を指摘

連邦エネルギー規制委員会（FERC）は 2013 年 6 月 6 日、デマンドレスポンス（DR）アグリゲーターであるエネワイズ社による、2009 年および 2010 年の PJM 市場における不正行為を指摘した。行為の内容は、抑制量算定のベースとなる常時の電力使用量（ベースライン）が高く設定されるよう、需要抑制を実施する契約先の電力の利用を操作し、実際に抑制可能な使用量を越えた報酬を得ていたというものである。本件について、現時点は容疑がかけられた段階であり、今後、事実認定の手続きが行なわれる。